

◆科目名：英文法 414

◆曜限：火曜 5 限(16:50-18:30)

◆担当者：石井 透

◆授業内容

生成文法に基づいて、英語の多種多様な構文を分析し、従来の学校 テーマ・概要 文法だけではわからなかった、人間の言語がもつ複雑で興味深い特性、そしてその背後で作用しているさまざまな普遍的原理・人間の言語処理のしくみについて学びます。

(1) 英語の各構文を分析してその性質を正確に理解し、自分でも使えるようにする。

(2) それらの構文の背後で作用している普遍的原理・脳の言語処理のしくみについて、深く理解し説明できるようにする。

以下のディプロマポリシーを到達目標とします。

DP1-1 英語英米文学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。

DP1-2 文化的他者とのコミュニケーションにおいて基礎的な技能となる英語力を修得している。また、そのために必要な言語・社会・文化・歴史・芸術・思想に関する専門的な知識の中から個人の関心に応じて必要なものを修得している。

DP1-5 第一・第二外国語習得論や語用論等、英語教育に必要な実践的知識や技能を修得している。

◆授業計画

1. ガイダンス

生成文法理論の基本的な考え方、特に生得仮説(innateness hypothesis)について学ぶ。

Read: Chapter 1: What is Linguistics? (p. 5 - p. 7, l. 16; p. 8, l. 18 - p. 11)

2. 生成文法理論の背景について学ぶ

Read: Chapter 5, Section 5.1: Some Background Concept (pp. 143-148)

3. 英語の Yes/No 疑問文、及び助動詞と本動詞について学ぶ。

Read: Chapter 5, Section 5.2: An Informal Theory of Syntax (pp. 148-156)

English Yes/No Questions, Auxiliary Verbs versus Main Verbs in English

4. 主語の概念について学ぶ。

Read: Chapter 5, Section 5.2: An Informal Theory of Syntax (pp. 156-163)

Structural Grouping: The Subject Constituent, The Notion “Subject”

5. 統語的構成素について学ぶ。

Read: Chapter 5, Section 5.2: An Informal Theory of Syntax (pp. 163-168)

Constituent Structure and Tree Diagrams

6. 統語的構成素テストについて学ぶ。

Read: Chapter 5, Section 5.2: An Informal Theory of Syntax (pp. 168-173)

Constituent Structure Tests: Using Rules, Clefts, and Conjunction, Grammatical Relations

7. 構造的な多義性と不連続な依存関係について考察し分析する。

Read: Chapter 5, Section 5.2: An Informal Theory of Syntax (pp. 174-186)

Tree Diagrams and Structural Ambiguity, Discontinuous Dependencies, Accounting for Discontinuous Dependencies

8. 句構造規則、回帰性、変換規則について理解する。

Read: Chapter 5, Section 5.3: A More Formal Account of Early Transformational Theory (pp. 187-194)

Phrase Structure Grammars, Recursion, Transformational Grammar

9. 依存関係、特に Wh 疑問文について分析し、その特性を考察する。
Read: Chapter 5, Section 5.4: Special Topics (pp. 194-198)
More on Dependencies (Wh-Questions)
10. 依存関係、特に受動文と繰り上げ文について分析し、その特性を考察する。
Read: Chapter 5, Section 5.4: Special Topics (pp. 194-198)
More on Dependencies (Passive, Raising)
11. 依存関係、特にコントロール動詞について分析し、その特性を考察する。
Read: Chapter 5, Section 5.4: Special Topics (pp. 194-198)
More on Dependencies (Control Verbs)
12. 照応形と束縛原理について学び分析する。
Read: Chapter 5, Section 5.4: Special Topics (pp. 198-200), Chapter 11, Section 11.4 Special Topics (pp. 493-494) Sentence Structure and Anaphora, Binding Principles.
13. 句構造規則と変換規則の発展について学ぶ。
Read: Chapter 5, Section 5.4: Special Topics (pp. 200-201)
Evolution of Phrase Structure and Transformational Rules,
14. 原理とパラメータ理論について学ぶ。
小テスト
Read: Chapter 11, Section 11.4 Special Topics (p. 492, pp. 424-426) Principles and Parameters, The Head Parameter

◆授業の方法

テキストに沿って講義形式で行います。前の授業で学んだことを前提に次の授業が進んでいきますので、授業には毎回出席するようにして下さい。ある程度以上出席していないと成績評価の対象になりません。

◆必要な予備知識/先修科目/関連科目

英語学概論 I, II

◆成績評価の方法

学期末に「到達度確認小テスト」を行います。「到達度確認小テスト」70%、平常点(授業への参加状況)30%で評価します。

◆成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第 39 条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

◆テキスト Akmajian, A. A. Farmer, L. Bickmore, R. Demers, R. Harnish (2017) *Linguistics: An Introduction to Language and Communication (Seventh Edition)*, MIT Press.

Chapter 1: What is Linguistics? (pp. 5-11), Chapter 5: Syntax: The Study of Sentence Structure, Chapter 11: Language Acquisition (pp. 492-496)

◆参考書

授業の際に適宜紹介します。

◆質問・相談方法等(オフィスアワー)

授業の前後に時間をとりますので、質問などある方は事前にお知らせ下さい。